

ATGG の Photo World No.5

今年の4月から始まったこのヘンテコ連載も、5度目を迎えました。つまらないシリーズに辟易して、「いつまで続けんのや、ええ加減にせんかい」と、さめき弁でお叱りを受けそうな感じですが、「まだまだ止めたらへんで！」と抵抗して、もう少しは続けますのでよろしく。

さて、今月の出し物は例によってチョウと植物、それにトリが入ってその他が1枚です。辟易せずにちょっとばかり辛抱して見てやって下さい、ねっ。



まずはチョウ。7月中旬、茨城県のつくばの駅の近くの公園で見つけたものです。ご覧の通り、羽の裏面は目立たない褐色なるも、表面は鮮やかな紫色、尾状突起がついています。…、そう、これ、ムラサキツバメなんです。このチョウ、昔は関西以南にしかいなかったようですが、最近棲息範囲が広がり、関東でもあちこちで見られるようになったとか。でも、まあまあ珍しい蝶の一種です。このチョウは成虫で越冬する、それも数匹～数十匹の単位で集団越冬するそうです。よ～し、冬にはまたここへ来て、越冬状況を観察しよう！ てなわけで、詳細な場所は明示しません、ヒミツです！



次はハナ。ハナ、と言ってもあまりそれらしくないですが、良くご覧ください、立派な「花」なんです。これもつくばで撮ったもので、高さ5mを越える大木に風変わりな花が咲いてました。帰って調べたら、スモークツリーなるウルシ科の落葉樹らしい。まさにピッタリの名前ですね。ヨーロッパや中国辺りが原産で日本には園芸種として輸入され、和名ではケムリノキとかハグマノキとかいうんだそうです。

この2枚の写真は何れもつくばで撮ったものですが、実はこの日、つくば国際会議場で開かれた「大村智講演会」に参加し、ノーベル賞受賞者大村智先生のお話と、これまたノーベル賞受賞者の江崎玲於奈さんとのトークセッションを聞いて来たのです。なかなか聞き応えがありました。



3枚目はトリ。これはコブハクチョウです。昔懐かし、四国は丸亀城のお堀に棲んでるものです。このコブハクチョウは昭和4年に皇居から6羽譲り受け、その後ここ丸亀城のお堀に棲み続けてるんだそうで、飛び立たないように親羽は切除されてるんだそう。なかなか風格のある佇まいですよ。

この写真は(次のもそうですが)、7月8日(土)の大手前ホームカミングデーに参加すべく丸亀を訪れた時のものです。



最後の Photo は、丸亀城のお堀端から眺めた母校大手前丸亀高校の雄姿。懐かしいですねえ。わが母校の校舎も、ATGG 在学中の面影は殆どなく、立派に進化しています。悦ばしいことです。願わくば、志ある若者をより大勢日本の社会に送り出し続けて欲しいです。

ついでながら、このホームカミングデーの当日、恩師和気俊郎先生のお墓参りをし、翌9日(日)にはこれまた懐かしの大川山ツアーをやりました。大川山ツアーはあいにくの雨でめぼしい生物には出会えませんでした。詳細は別途の報告文をご覧ください。

今月は以上です。ATGG へのお便りはこのアドレスへどうぞ。 haradah@rapid.ocn.ne.jp

(2017年7月18日 大手前丸亀4回生 原田浩 記)